

平成29年度第1回学校関係者評価委員会議事録

日 時：平成29年5月29日（月）13：00～14：11

場 所：千葉経済大学 大会議室

出席者：

1	佐久間 勝彦	理事長・大学学長・短期大学部学長・高校校長
2	佐久間 美羊	副理事長・准教授
3	小滝 敏之	常任理事・特任教授
4	佐々木 光俊	経済学部長・教授・理事・評議員
5	大沼 徹	こども学科長・教授・評議員
6	飯島 一生	高校副校長・評議員
7	陶山 具史	法人事務局長・大学・短期大学部事務局長・理事・評議員
8	小針 美由紀	高校教頭・評議員
9	長谷川 七三一	千葉経済大学附属高等学校同窓会会長・評議員
10	嶋田 和雄	(株)グランドアール取締役・評議員
11	本橋 隆司	千葉経済大学父母の会会長・評議員
12	水澤 健之	千葉経済大学附属高等学校父母の会会長・評議員
13	畠山 一雄	(学)畠山学園理事長・評議員
14	安田 敬一	安田教育振興会理事長・評議員
15	茂手木 直忠	医療法人社団直心会理事長・校医・産業医・評議員
16	小澤 慶和	ビジネスライフ学科長・教授・理事・評議員
17	山口 和夫	(株)さつま屋社長・評議員
18	村松 重彦	(学)聖メリー学園・小ばと幼稚園理事長、園長・評議員
19	石渡 哲彦	(株)ちばぎん総合研究所顧問・評議員
20	佐久間 道子	評議員
21	黒田 宣夫	大学教授・評議員
22	高屋 和彦	大学教授・評議員
23	佐久間 達郎	評議員
24	堀 敏明	日本私立学校振興・共済事業団企画室次長・評議員
25	積田 悟	前高校副校長・評議員
26	池澤 秀夫	(株)千葉興業銀行顧問・学園監事
27	植松 省自	税理士法人京葉会計事務所代表社員・学園監事

1. 開会のあいさつ

2. 理事長あいさつ

議題

【1】平成28年度事業報告について

陶山 具史 法人事務局長から、別添1「学校法人千葉経済学園平成28年度事業報告書（案）」に基づき、法人の概要、事業の概要について説明がなされた。

事業の概要

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」及び校是・校訓に基づき、教育の質の確保、向上を図り、良識と創意に満ちた感性豊かな人材の育成の実現に向けて学習環境の整備に努めるとともに教育の充実・推進にあたった。

志願者数が低迷する傾向にある中、学園の発展を期するために、学生・生徒数の確保と徹底したコスト抑制を行い、財務体質の健全化を図りつつ教育環境の整備を行った。

平成28年度に実施した事業の主な内容は次のとおりである。

[千葉経済学園]

(1) 学園創立83周年記念式典の開催

移転新築した短期大学校舎の竣工披露を兼ねて、学園創立83周年記念式典を5月15日（日）に開催した。募金活動を継続し、寄付金を事業資金の一部に充当した。

(2) 建学の精神の啓蒙教育

論語から十二訓を選んで大学・短期大学・附属高校の教室等に掲示し、「片手に論語 片手に算盤」の精神の周知徹底を図るとともに、大学では「論語と社会」の科目を引き続き開講し、附属高校では論語ノートを活かして建学の精神の涵養に努めた。

(3) 大学・短期大学・附属高校の連携推進

大学・短期大学・附属高校三者の連携会議を随時開催し、ビジネス教育関係、コンピュータ関係、入試・進路・広報関係、学生活動関係の各分野にわたって学園として密なる機能連携を図った。

(4) 広報の充実強化

大学・短期大学・附属高校のそれぞれの入試に係る広報に加えて、より幅広い情報発信や、新たな手法による情報発信、および学園全体についての広報に、学園のシンボルロゴを活用して取り組んだ。

(5) 学園本部棟の耐震化

国県の助成制度を活用して、学園本部棟の耐震化工事を行った。

(6) ボランティア活動の推進

地域貢献という学園の使命を果たすため、地域の関係団体と連携した学生・生徒のボランティア活動を推進した。

(7) 資格取得奨励

大学・短期大学・附属高校それぞれにおいて各種検定・資格試験の合格を奨励し、高度の資格取得者には奨励金を授与した。授与された学生・生徒は延べ数で、大学 2 名、短期大学 17 名、高校 17 名である。

(8) 学生・生徒・教職員の安全を期しての防犯カメラの設置

防犯カメラを大学・短期大学校地に 14 台、PC 室等の屋内に 11 台、高校校地に 7 台を設置して、不測の事態に備えて学生・生徒・教職員の安全に期することにした。

[千葉経済大学附属高等学校]

(1) 耐震化等の推進

新耐震基準施行（昭和 56 年 6 月）前に建築された校舎の耐震化と付帯施設設備の改修等を順次行ってきたが、本年度は高校 1 号館の耐震補強および自彊館の吊天井落下防止工事を実施した。

(2) 学力向上のための授業内容の充実

生徒の学力向上に資するために、授業時間の確保とともに授業規律の維持と教科研究の充実に努めた。

(3) 選挙権 18 歳以上付与への対応

生徒心得に「学校構内における選挙運動・政治的活動・投票運動は禁止する」を追記し、政治的中立性の維持を図るとともに、公民科の授業や稲毛区役所の啓蒙活動としての模擬投票等により、政治的教養を養う機会をつくった。

(4) 特進クラスの教育充実と大学進学実績の向上

特進プロジェクトチームが中心となり、特進クラス生徒個々の実態を把握し、早稲田予備校教員による特進講座等で受験指導の充実に努めた。また、一般クラスの生徒に対しても、進学講座の実施や小論文講座の開講などにより、生徒個々の受験ニーズに対応した指導に努めた。

(5) 新規採用教員の研修充実

新規採用教員に対しては、校内研修の充実を図るとともに、千葉県私立中学校高等学校協会の主催する研修等への参加により、教員としての資質の向上を図った。

(6) 部活動の振興

部活動の振興に努めた結果、全国高校総体においてソフトボール部が優勝し、自転車競技部が 3 位入賞を果たした。また卓球部・柔道部・バスケットボール部・ボクシング部が全国高校総体や関東大会に出場して活躍した。文化系でも珠算部が全国大会に出場するなどの活躍があった。

(7) 定員確保のための生徒募集活動の遂行

定員確保と入学生徒の質向上を図るため、入試広報委員会を中心に全教職員でオープンキャンパス・入試説明会等に取り組んだ結果、29 年度入学者数は 608 名で学則定員を 48 名上回った。

(8) いじめ及び体罰の防止に努める

服務提要に定めた、「千葉経済大学附属高等学校いじめ及び体罰防止に関する規定」に従い、いじめ及び体罰防止に努めた。

【2】平成28年度決算について

議長の指名により、石井 伸 法人事務局会計課課長補佐から別添2「平成28年度 学校法人計算書」及び資料1「平成28年度決算概要」に基づき、資金収支決算書、活動区分資金収支計算書及び事業活動収支計算書についての説明と併せて別添1「学校法人千葉経済学園平成29年度事業報告書」の財務の概要についても説明が行われた。また、平成28会計年度の経過措置により第4号基本金取崩しをおこなった旨の話があった。引き続き、植松 省自監事より資料2「監査報告書」について説明がなされた。

【3】千葉経済大学附属高等学校の学則一部改正について

議長の指名により、陶山 具史 大学・短期大学部事務局長から、①別添5「千葉経済大学附属高等学校学則の一部改正（案）」、別表1「学則変更条項新旧対照表〈商業科〉教育課程」に基づき、商業科における現行教育課程の「物理基礎」を「地学基礎」へ科目変更を行うこと、②別添6「千葉経済大学附属高等学校学則の一部改正（案）」、別表2「学則変更条項新旧対照表〈普通科〉教育課程」に基づき、普通科文系Bコース・理系コース科目「化学」の履修単位数の表記に誤りがあるため訂正することの説明が行われた。

【4】その他

議長の指名により、飯島 一生 高等学校副校長より高等学校の近況報告があった。

①運動部は、この5月に関東大会予選、千葉県の予選会が各種目ともあり女子ソフトボール・バスケットボール・自転車競技・ボクシング・卓球・柔道のそれぞれが関東大会へ出場しており文化系では将棋部が関東大会に出場し各種活躍をしています。

②生徒の進路は、早々に進路ガイダンスを開き始動しています。

③新入生獲得に向けては、入試広報委員を組織して、この中間試験から担当を決めて生徒募集に取り組んでいます。

最近の高校生の状況を見ますと健康面で配慮の必要な生徒、または、特別支援を必要とする様な生徒、発達障害を持つ生徒も抱えております。校医の茂手木先生に、食物アレルギーの生徒に対応するエピペンの講習会を開催しました。またカウンセリングセンター・保健室・職員室と連携をとって支援を要する生徒に対応しています。

※満足度調査結果（平成28年度）の公開は、学内限定公開することとしております。